

どもる子どもの親と臨床家のための 吃音相談会・講演会

子どもが突然「おおおかあさん」と言い出したら、ご心配なことでしょう。相談に行つて「放っておいたらそのうち治りますよ」と言われたが、一向によくならないどころか、子どもがますます悩みを深めたということもよく聞きます。

吃音に関するインターネット情報は、治る・治すべきを基調として様々なものが飛び交っています。その中には、誤ったものも多く、吃音に関する正確な情報が少ない中で、吃る子どもも、周りの方も、吃音にどう対処していいのかわからず、困っています。

今回、下記のとおり、NPO法人大阪スタタリングプロジェクトと日本吃音臨床研究会の共催で、吃音相談会・講演会を開きます。

この相談会では、日本吃音臨床研究会会長の伊藤伸二が、どもりについての基礎的な知識や子育ての基本など、具体的な例をもとにお話をします。

お子さんの吃音のことで悩み、困っておられる方、どうぞお気軽にご参加下さい。

記

日時 2012年7月1日(日)午後1時～5時(受付 12時30分より)

会場 應典院(おうてんいん)地下鉄「谷町九丁目」・「日本橋」駅下車徒歩6分

内容 お子さんの吃音のことで悩む、ご両親とことばの教室をはじめ子どもの臨床に携わる方を対象にした吃音相談会と講演会

講師 伊藤伸二(大阪教育大学非常勤講師・言語障害児教育)

スタッフ 松本進(元ことばの教室担当)、溝口稚佳子(小学校教師・支援学級担当)

東野晃之・川崎益彦(大阪スタタリングプロジェクト)など

参加費 資料代として1500円

申し込み方法 ①住所、②参加される親の氏名、③電話番号、④子どもの氏名、
⑤年齢(学年)、⑥相談したいこと、知りたいこと、今困っていることを明記の上、はがきかFAXでお送り下さい。

申込先・問い合わせ先 日本吃音臨床研究会

〒572-0850 寝屋川市打上高塚町1-2-1526 TEL/FAX 072-820-8244

講師プロフィール

大阪教育大学非常勤講師。言語聴覚士養成の専門学校5校で吃音の講義を担当。

小学2年生の秋から吃音に強い劣等感をもち、1965年に吃る人のセルフヘルプ・グループ、言友会を設立するまで吃音に深く悩む。1986年に第1回吃音問題研究国際大会を大会会長として開催し、世界40カ国が参加する国際吃音者連盟の設立にかかわる。現在国際吃音者連盟の顧問理事。

セルフヘルプグループ、論理療法、交流分析、アサーション・トレーニング、竹内敏晴・からだことばのレッスンなどを活用し、吃音と上手につき合うことを探る。吃音ワークショップ、吃音親子サマーキャンプ、臨床家のための吃音講習会などを開催している。

著書に、『親、教師、言語聴覚士が使える、吃音ワークブック』『知っていますか? どもりと向きあう一問一答』『どもる君へ いま伝えたいこと』(解放出版社)『治すことにこだわらない、吃音とのつき合い方』(ナカニシヤ出版)『やわらかに生きるー論理療法と吃音に学ぶ』『話すことが苦手な人のアサーション』『ストレスや苦手とつきあうための 認知療法・認知行動療法 吃音とのつきあいを通して』(金子書房)など。